

平成31年度 事業計画書

自 平成31年 4月 1日

至 平成32年 3月31日

1. 基本方針

公益社団法人 竹原豊田法人会は、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として社会全体への貢献をめざし、税を中心とした事業の一層の活性化を図るとともに適正・効率的な組織運営に努め、法人会活動の更なる充実に努める。

2. 事業計画

事業の実施に当たっては、引き続き、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら、組織・財政基盤の強化を図るために会員増強に力を入れるとともに、地域の活性化にも配慮しつつ、以下に掲げる諸施策に取り組む。

また、「公益性」を高めるため、会員企業に加えて一般市民等へ対象を広げた事業活動の実施、租税教育、租税教室の充実に努める。

公益1

(1) 研修相談事業

- 1) 税に関する説明会・研修会・セミナー・講演会の開催
- 2) 社会保障・税番号制度「マイナンバー制度」の広報・啓発活動に努める。
- 3) 消費税の「期限内納付推進運動」並びに「e-Tax」、の普及の推進に努める。
- 4) 自主点検ガイドブック・チェックシートの普及に努める。

(2) 租税教育事業

- 1) 竹原税務署管内の小学生に租税教室の実施 - - - - 青年部会
- 2) 竹原税務署管内の小学生に「税に関する絵はがきコンクール」の実施 - - - - 女性部会
- 3) 一般市民及び会員企業から、税に関する川柳の実施

(3) 税制提言活動

地域経済の担い手である中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとしてわが国の将来を展望した建設的な提言に努める。

- 1) 会員企業の税制に関する要望事項のとりまとめ
- 2) 竹原市長・竹原市議会議長、大崎上島町長・大崎上島町議会議長に対し、平成31年度税制改正要望書の提出を行う。

(4) 税の広報事業

- 1) 会報「たけはら とよた」の発行・配布及び、全法連会報「ほうじん」の配布
- 2) 税知識の普及・広報活動の実施を図る。

公益2

(1) 社会貢献事業

「公益性」をより一層高めることに留意し、地域の企業や住民を対象とした税制・政治・経済・文化等の講演会・研修会などの開催

- 1) 河川公園等（賀茂川の清掃）及び、地域清掃活動の実施
- 2) エコキャップの回収
- 3) 節電対策「いちごプロジェクト」に取り組む。

(2) 経営支援活動

公益法人として、会員企業に加えて一般市民にも対象を広げた研修・講演会を開催する。

- 1) 経営に関する研修会等の実施
- 2) 経営に関する教材の配布及び貸し出し・小冊子の配布

共益関係

(1) 福利厚生事業

会員企業の保険に対する意識の変化をはじめとして、法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は、一段と厳しさを増している。このような状況のもと、取扱い三社との連携を一層強化しつつ、福利厚生制度の円滑な運営、充実を目指し、法人会の財政基盤の安定化に寄与する。

加入率のさらなる向上を目指して、組織厚生委員会、青年部会・女性部会との連携を強化し、制度の推進に注力する

(2) 会員支援事業

法人会の基本方針において、会員の積極的な自己啓発を支援することを、最重点事業として位置づけ、会員のニーズに応じた事業内容の充実を図る。

(3) 会員増強事業

今年度も、「会員増強月間」を9月から12月に定め、退会防止に努めながら積極的な会員増強を図る。昨年に引き続き会員数を純増させるため、より効果的な対応策を展開する。

(4) 支部事業

支部の自主的事業の充実および支援

(5) 青年・女性部会活動

1) 青年部会

「青年部会のあり方（指針）」に沿って、「税の啓発」をはじめとする活動の充実を図る

- ① 研修活動および親睦事業の充実を図る。
- ② 小学生対象の「租税教室」を実施する。

2) 女性部会

「女性部会のありかた（指針）」に沿って、部会員の資質向上と法人会の充実・活性化に努める。

- ① 研修会、視察研修および親睦事業の充実を図る。
- ② 小学生対象の「税に関する絵はがきコンクール」を実施する。
- ③ 節電啓発運動「いちごプロジェクト」に取り組む。

管理関係

(1) 諸会議

- 1) 総会・正副会長会・理事会・各委員会の開催
- 2) 関係機関等の会議
- 3) 友誼団体との協議会

(2) その他

- 1) 全法連、県連ならびに各法人会との相互連携への参加